

東京都台東区立児童館(7館)

指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
所管部課	教育委員会 児童保育課 (放課後対策担当)

評価委員会による評価

1. 評価の観点

- ※ 「評価の観点」(1)～(6)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。
- ※ 「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

(1) 管理の適正性

委員会 の評価	19点	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	松が谷	今戸	寿	谷中
		20	20	20	20	20	20	20

●委員のコメント

良い点

- 協定に基づいて必要な書類が整備され、適正な管理・運営が行われている。また、訓練の実施など緊急時に備えた体制を整えている。
- 問題が生じた場合、館長を中心に適切かつ迅速に対応しようとする姿勢がみられる。

改善すべき点

- 各児童館とも避難訓練の目的は「火事」「地震」の範囲であり、昨今問題になっている「不審者侵入」が少ないため、「不審者侵入」の対応訓練をさらに実施してほしい。また、避難経路が確保しにくい児童館も多いため、しっかりしたマニュアル整備と訓練が必要と思われる。

(2) 事業の運営

委員会の 評価	18点	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	松が谷	今戸	寿	谷中
		19	18	20	19	20	20	20

●委員のコメント

良い点
<ul style="list-style-type: none">○ 各館に共通する基本的な活動が行われているとともに、スポーツや工作室・音楽室等での活動、飼育活動等、地域の児童のニーズに合った特色のある活動が実施されている。○ 地域性や小学校との関係、前年度の反省等を生かして活動を検討し、子供たちが活用する姿をイメージしながら、地域の児童館としてのあり方を工夫・改善している。○ 中高生タイムの設定、バンド練習のできる部屋の提供など、幅広い年齢層のニーズに応えようとしている。○ 児童館通信の発行など、利用する子供やその保護者との連携を密にしようとする努力がみられる。○ 地域との連携が取れており、また、職員の対応がとても良く、利用者とのコミュニケーションも取れている。

改善すべき点
<ul style="list-style-type: none">○ 工作室の活動や植物の栽培など人気のある事業は、職員の努力・経験や専門性を生かして、より積極的に推進してほしい。○ 小学校における放課後子供教室の実施に伴い、学校では取り組みにくい活動を実施したり、多方面にPRを行ったり等、利用者数の減少に対する対策をしてほしい。○ 一部の児童館で利用者数の減少が顕著になっているため、施設改修といった物理的な理由以外の減少の要因について、十分な検証を行ってほしい。○ 一部の児童館で、施設の場所がわかりにくい所があった。

その他

- 他館の活動を見て刺激され、自分たちの活動に役立たせる子供たちも多いと思われるため、年1回の全館合同で行う発表会の場を大切にしてほしい。
- 職員の指導も大切だが、子供自身の自主性を重視したい。

(3) 施設の維持管理

委員会の 評価	18点	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	松が谷	今戸	寿	谷中
		20	20	20	20	20	20	20

●委員のコメント

良い点

- 清掃点検票を作成し、日常の清掃業務等が確実に行われ、清潔で安心して利用できる施設の維持管理が行われている。
- 始業時に、職員が子供たちの手にする遊具を一つ一つ丁寧に消毒しており、子供たちを怪我や感染症から守るためのきめ細やかな配慮がなされている。
- リサイクルやごみの削減の取り組みを利用者に呼びかけながら実施し、地域の環境美化にも貢献している。

改善すべき点

- 複合施設など、建物内に入らないと児童館の存在が目に入らない館があり、また、案内板等もわかりにくい箇所がある。児童館を身近な存在にするために、「児童館と分かる外観」や「学校が終わってワクワクして通う内装」など、もう少し「派手さ」があっても良いのではないかと。
- 壁の塗料の剥がれや、飾りなどにやや古いものが見受けられた。建物そのものが古く、予算や人員も限られるので致し方ない面もあるが、「古い」という印象を持たれないようにしてほしい。

(4) サービス向上の取組み

委員会の評価	17点	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	松が谷	今戸	寿	谷中
		17	18	20	20	20	20	20

●委員のコメント

良い点

- 投書箱の設置や利用者の満足度調査、アンケート等を適時行っており、アンケートに回答した利用者からは、概ね高い評価を得ている。また、結果を活動内容の工夫改善に活かしている。
- 幼児タイム・園児タイムだけでなく、幅広い年代層のニーズに合わせ、年齢に合わせた施設の環境整備が行われている。

改善すべき点

- 工作室や陶芸室の活動は、子供にとっても保護者にとっても人気・関心があるため、利用者のニーズを汲み取った時期や曜日の設定をしてほしい。
- 職員の服装がまちまちで明るさがないため、子供が喜ぶユニフォームを検討してほしい。
- 他の児童館の催しものを相互展示しているが、目につきにくいいため展示方法を工夫してほしい。
- アンケートの回答数が十分でない児童館がみられ、特に中学生の回答収集状況には課題が残る。また満足度についての質問項目では、ばらつきが大きい。
- 職員の子供たちへの関わり方で、思わしくない評価も散見される。
- 新たなPR方法や企画を試みるのも良いのではないかと思う。町会の回覧も利用したらいいのではないか。

その他

- 館長やベテラン職員などから高い意欲と責任感を感じられたが、一部、若い職員などの様子が気にかかった。職員の表情や態度は、僅かなことでも子供たちの印象を左右するため、注意が必要である。

(5) 収入支出

委員会の評価	16点	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	松が谷	今戸	寿	谷中
		20	20	20	20	20	20	20

●委員のコメント

良い点
<ul style="list-style-type: none">○ 児童館事業全体の収支状況は、予算内で執行されている点が評価できる。○ 各児童館で、工作室の活動等で使用する素材や材料を近隣の業者から提供していただく等、経費削減の努力がなされている。

改善すべき点
<ul style="list-style-type: none">○ 個別の収支項目では、予算と実績の差が顕著な部分が多く見られる。保守・修繕関係の費用、備品・消耗品費など、予算を大幅に超過している項目については、精度の高い修繕計画、備品購入計画を作成し、適切に予算に反映させる必要がある。

その他
<ul style="list-style-type: none">○ 各児童館の特色ある活動を奨励するために、許される範囲での柔軟な執行があっても良いのではないかと。

(6) 優れた取組み

委員会の評価	5点	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	松が谷	今戸	寿	谷中
		-	-	-	-	-	-	-

●委員のコメント

良い点
<ul style="list-style-type: none">○ 「幼児タイム」等の親子で児童館を利用する活動のほか、子供たちの活動中に、陶芸教室など保護者向けの講座や活動が実施され、ニーズもあり素晴らしい。○ 18歳まで利用できる施設だが、幼児・小学校児童対象の施設としてのイメージが強く、中高生の利用については、あまり意識されていなかった。午後6時から7時の「中高生タイム」に、音楽室を解放しバンド活

動に利用できるようにする取組み等は、今後も続けてほしい。

- 各児童館を利用していた中高生をボランティアとする学習教室などの活動は良い。

その他

- 生物の飼育や観察、草花の栽培なども重要な取組みである。
- 各館で独自性のある取組みを設定し、“あの館ではあのような活動がある”という活動を実施してほしい。それにより、保護者の責任で、多少遠い館でも通わせる、ということがあっても良いのではないか。

2. 総合評価

総合評価は、5 ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会 の評価	良好 (93 点/110 点)	【参考】 区の評価						
		千束	玉姫	台東	松が谷	今戸	寿	谷中
		良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好
		96 点	96 点	100 点	99 点	100 点	100 点	100 点

●委員のコメント

- 各児童館が地域性や小学校との関係等を考えながら、“楽しく安全な、そして魅力的な遊び場” 作りに向け努力している。
- 「児童館へ行こう」「台東区の児童館」などのすばらしいパンフレットを使って、学校で児童館の利用指導が行われると良い。
- 18歳まで利用できる児童館でありながら、幼児・小学校児童対象の施設としてイメージされてきたが、“中学生・高校生の利用”を視野に改善が図られていることがすばらしい。
- 利用する子供たちと真摯に向き合おうとしており、満足度を高めるための日々の努力が大いに評価できる。
- 利用者の声を汲み取る仕組みには改善の余地がある。
- 予算執行については、必要な経費の予算化精度を上げたい。特に修繕や備品買い換えなど、子供たちの安全に影響する管理費用は長期計画でしっかり確保し、計画的に修繕や備品買い換えを行いたい。
- 利用者が減少したとは言え、現代の子供たちにとっては、なくてはならない場所である。学校から帰って来てほっとする場所であって欲しい。また、働く親たちにとっては安心して通わせる事のできる場所だと思う。

3. 評価委員会から区への意見

●委員のコメント

- 小学校内に放課後子供教室が開設され、中学校の部活動のあり方が再検討されるようになると、現在の児童館のあり方にも変化が求められて来るであろう。親や子の活用状況やニーズを分析し、子供の成長に寄与する児童館のあり方を見出してほしい。
- 中学生の利用を意識して開館時間を延長したり、音楽活動など活動内容を拡大しており、“職員とのおしゃべり”を楽しみにやってくる生徒が多くなったと聞いた。学校帰りにグループで寄り、職員の常置する場での“たまり場”となる「中学生のおしゃべりサロン」等の開設を検討してほしい。学校では、“部活が無い子は早く帰りなさい”と指導し、その子供たちの居場所が無いのが実態である。
- 利用者アンケートの収集に関して、児童館側にすべて任せるのではなく、区側でも声を収集するなどの取り組みがあった方がよい。子供がいるが全く利用していない家庭の声も聞いてみたい。
- 障害のある子供や、けがなどで一時的に配慮が必要な子供に対応するため、区主導で可能な範囲でバリアフリー化を進めてほしい。

区による評価

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	(37) 東京都台東区立千束児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区千束3-20-6 [規模] RC4階建 3・4階 事務室・休憩室・図書室・遊戯室・図工室・集会室兼音楽室等 千束保育園・千束こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員3名、アルバイト等2名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	39,320,000	42,191,141	38,860,000	40,155,331
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	26,100	0	50,300
	計	39,320,000	42,217,241	38,860,000	40,205,631
支出	人件費	35,231,000	33,227,159	33,946,000	34,470,583
	光熱水費	1,515,000	2,116,357	2,030,000	1,945,243
	維持管理費（委託料・賃借料）	649,000	363,445	822,000	634,017
	修繕費	350,000	687,851	300,000	1,343,920
	事業費	731,000	4,223,123	765,000	783,342
	その他支出	844,000	1,599,306	997,000	1,028,526
	計	39,320,000	42,217,241	38,860,000	40,205,631
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	334	331	332
事業実施回数	回	700	536	751	693

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	32,000	32,308	35,531	31,430
利用登録者数	人	1,200	1,083	1,045	1,146

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

千束幼稚園の連絡協議会参加、柏葉中学校からのボランティア受入など、近隣の関係団体・施設との交流や関係づくりに力を入れた。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令・規範を遵守しながら公の施設として適正に管理していた。また、全ての月で火災・水害など想定を変えた避難訓練を実施するなど、緊急事態への対応能力も高める努力がなされている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	利用人数は減ったものの、地域・関係団体との連携や開館時間の順守、事業の円滑な実施、利用者とのコミュニケーションなど、施設の運営は滞りなくされていた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の管理については、手すり、遊具等に対する毎日の消毒や図工室の工具の定期的な点検など、安全・衛生への意識が高く、十分な維持管理を行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	利用者へのアンケートや投書箱による意見募集を行い、その結果・内容を分析してニーズを踏まえたサービスを提供することを意識しているが、利用人数が前年度より減ったため、さらなる工夫が求められる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	サーキュレーター使用による室内空気の循環や、うちわの貸出し、照明の間引きなど、省エネの工夫により経費節減に努めている。
(6) 優れた取組み	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
<<加点項目>> ※点数上限：10点	
点	
7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (96 / 110点)	【所見】 アンケートによれば9割以上の利用者が満足しており、良好なサービスが提供されているが、前年度に比べ中高生を除いた利用者数が減少しており、これを増やしていくための取組みが必要である。施設管理も含めて全体としては適切な運営が行われている。
	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 ・利用者数が一定程度減少したため、より一層の事業面での工夫が必要である。

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	[38] 東京都台東区立玉姫児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～ H32.3.31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区清川2-22-13 (仮移転先) 清川2-24-9 [規模] RC7階建 都営住宅1階 事務室・遊戯室・図書室・集会室兼図工室等 玉姫保育園・玉姫こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ()
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員3名、アルバイト等1名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	35,035,000	33,527,844	35,024,000	34,436,072
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	0	0	6,500
	計	35,035,000	33,527,844	35,024,000	34,442,572
支出	人件費	30,690,000	27,289,608	30,889,000	30,315,077
	光熱水費	1,673,000	1,811,987	1,673,000	1,293,997
	維持管理費（委託料・賃借料）	643,000	303,906	684,000	683,293
	修繕費	650,000	1,456,553	250,000	243,400
	事業費	695,000	1,452,216	727,000	1,224,795
	その他支出	684,000	1,213,574	801,000	682,010
	計	35,035,000	33,527,844	35,024,000	34,442,572
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	334	329	332
事業実施回数	回	570	290	317	568

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	17,500	26,117	20,463	17,142
利用登録者数	人	460	361	386	451

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
様々な問題を抱えた児童の居場所として学校や子ども家庭支援センター等と連携を図りながら、児童と保護者の支援に努めた。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令や規範を遵守しながら適正に管理している。また、不審者来館時を想定したさすまたによる防犯訓練の実施など、緊急時にも対応可能な体制を整えている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	大規模改修に伴う仮施設への移転という事情を考慮しても、利用者数が当初の目標を下回った。ただし、それ以外の点では、異年齢交流やPTAバザーへの参加、石浜橋場こども園との合同行事など、全体として安定した事業の計画・運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	よく使用される遊戯室の遊具を定期的に点検・消毒するなど、安全面・衛生面で十分な管理を行っているとともに、チラシを年代別にホルダー分けするなど、日常的に高い意識に基づく施設管理業務がなされている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者数が目標値に及ばなかったものの、日々の清掃に加え、季節に応じた壁面装飾の工夫により来館者が気持ちよく過ごせるように心がけるなど、好印象を与えるサービスを提供した。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	幼児プールの排水を利用した打ち水等、省エネの工夫により経費節減に努めるなどしている。また、予算の範囲内で適切に執行した。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (96 / 110点)	<p>【所見】 仮施設へ移転したという事情があるものの、利用者数が目標値に届かなかった。ただし、利用者の満足度は高く、管理面も含めて良好な施設運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 ・利用者数が当初の目標に達しなかったため、事業面でのより一層の工夫が必要である。</p>

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	⁽³⁹⁾ 東京都台東区立台東児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～ H32.3.31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区台東1-11-5 [規模] RC5階建 3階 事務室・遊戯室・図書室・休養室・集会室等 台東保育園併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員3名、短時間職員2名、アルバイト等5名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	36,749,000	34,075,866	35,140,000	37,219,562
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	25,100	0	22,000
	計	0	34,100,966	35,140,000	37,241,562
支出	人件費	32,705,000	28,547,904	30,772,000	32,772,794
	光熱水費	1,672,000	1,058,534	1,672,000	956,716
	維持管理費（委託料・賃借料）	616,000	333,715	789,000	586,498
	修繕費	350,000	904,036	300,000	525,420
	事業費	715,000	2,208,392	737,000	1,511,733
	その他支出	691,000	1,048,385	870,000	888,401
	計	36,749,000	34,100,966	35,140,000	37,241,562
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	334	331	332
事業実施回数	回	900	930	788	890

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	19,000	14,512	17,701	18,229
利用登録者数	人	1,000	640	697	933

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
学習や語り合いの場として活用できるよう、図書室のレイアウトを変更して多目的スペースを設置した。また、中高生世代のくつろぐ居場所として図工室を活用した。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	災害時の職員の参集計画表を細かく場合分けしたり、保育園との合同訓練も含め10回の避難訓練を行うなど、緊急時対応をマニュアルに基づいて入念に災害を想定している。それ以外についても法令・規範に即した管理体制を構築している。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	ランドセル来館の実施や学校休業日における中高生専用部屋設置など、幅広い年齢層にとっての居場所になった結果、利用者数の増加につながった。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	日常的に遊具の整備・点検を行い事故防止に努めるとともに、日々の記録から危険箇所を特定して対策を講じるなど、安全確保に気を配っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	浅草橋区民館で幼児タイムの出張を行うなど、地域全体に即したサービスに対し利用者の満足度は高く、年度の利用人数も目標を達成することができた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	メールの活用でFAX利用を減らしたり、法人内での連絡は携帯電話を使用するなど、省エネにより経費節減に努めるなどしている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)		
良好 (100 / 110点)	【所見】 地域を意識したサービス提供の結果、昨年度より利用者が増加し、目標数を達成した。引き続き地域とのきめ細かい連携が求められる。全体として運営は良好である。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	(41) 東京都台東区立松が谷児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～ H32.3.31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区松が谷4-15-11 [規模] RC4階建 3・4階 事務室・遊戯室・図書室・工作室・集会室兼音楽室等 松が谷保育園・松が谷こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員2名、アルバイト等1名

2. 予算決算

		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	50,285,000	41,058,304	45,335,000	41,971,360
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	8,300	0	15,900
	計	50,285,000	41,066,604	45,335,000	41,987,260
支出	人件費	36,211,000	27,055,077	32,568,000	28,650,545
	光熱水費	1,408,000	1,503,829	1,569,000	1,324,614
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,384,000	851,042	1,384,000	672,723
	修繕費	650,000	399,472	300,000	444,938
	事業費	3,296,000	5,095,835	3,578,000	6,171,150
	その他支出	6,881,000	6,161,349	5,936,000	4,723,290
	計	49,830,000	41,066,604	45,335,000	41,987,260
収支			0		0

3. 活動指標

	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	56	334	331	332
事業実施回数	回	100	489	689	843

4. 成果指標

	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	6,000	34,209	32,374	34,125
利用登録者数	人	200	1,193	1,148	960

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

男性保護者が参加しやすい行事を定期的実施し、交流の場を提供することで育児支援の一助となることができた。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	職員向け研修の充実化を図って資質向上に力を入れた。それ以外についても法令・規範に基づいた適正な管理を行っている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	良好なサービスが提供できており、年度目標の利用人数にはわずかに及ばなかったものの、ほぼ同等の実績を挙げることができた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	屋上室外機の不具合について近隣から連絡があったときに早急に修繕対応するなど、日々の安全確保に注意を払っており、高い水準で施設の維持管理ができています。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者アンケートで遊具や飼育する生き物を充実させることについて要望があったため、児童に人気のカードゲームを購入したり、身近な生き物を飼育するなど、利用者のニーズを意識したサービスを提供した。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	毎月、ガスフィルターの清掃を実施してガス使用量の節減を図るなど、省エネの工夫により経費節減に努めるなどしている。また、予算については範囲内で適切に執行した。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (99 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者のニーズを見極めたサービス提供を行っており、目標数にはわずかに届かなかったが利用者の増加につながった。全体として適正に運営されている。</p> <p>平成30年度中に大規模改修を行う予定であり、開館日数や事業規模が限られる中で効果的に事業を実施していくための工夫が必要である。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主要因・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が当初の目標値に達しなかったため、活動内容の工夫が求められる。

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	[42] 東京都台東区立今戸児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～ H32.3.31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区今戸1-3-6 [規模] RC3階建 事務室・遊戯室・工作室・図書室・音楽室・事務所等 今戸こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員4名、アルバイト等1名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	43,085,000	38,007,919	39,904,000	37,395,877
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	17,950	0	22,300
	計	43,085,000	38,025,869	39,904,000	37,418,177
支出	人件費	37,713,000	32,417,966	34,244,000	32,886,587
	光熱水費	1,556,000	1,259,931	1,620,000	1,167,652
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,274,000	1,023,515	1,728,000	805,003
	修繕費	650,000	100,332	300,000	417,690
	事業費	715,000	1,767,849	747,000	1,271,853
	その他支出	1,177,000	1,456,276	1,265,000	869,392
	計	43,085,000	38,025,869	39,904,000	37,418,177
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	334	331	332
事業実施回数	回	1,200	829	1,104	1,124

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	36,000	20,822	32,355	35,516
利用登録者数	人	800	713	846	717

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

「ちびっこボランティア・エプロン隊」などの異世代交流活動に力を入れるとともに、工遊具や図書の充実を図り、中高生も含めた幅広い利用者が過ごせる工夫を行った。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令や規範を遵守して公の施設として適正に管理を行っていた。労働環境面でも就業規則を作成し職員に周知、また出退勤簿を適切に管理・把握するなど安定した環境の確保に力を入れている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	中高生世代を対象とした事業・活動を活発化させたことで、目標を上回る利用者数を達成させるなど、事業を円滑かつ順調に展開している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	区と連携・調整のもと、基準書に基づきながら床材の張替対応などで適切に対処した。全体として安全・安心な環境を確保するために施設の維持管理に尽力している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	昨年度の利用者アンケートで意見・要望があった事項や、満足度が低かった事項については、例えばおたよりを工夫して読みやすくするなどの改善策を講じ、積極的にツールとして活用した結果、利用人数の増加につながった。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	窓側のすだれ掛け、玄関前の朝顔育成による緑のカーテンなど、日常の省エネ策により経費節減に努めるなどしている。また、予算の範囲内で適切に執行した。

(6) 優れた取組み	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
《加点項目》 <small>※点数上限：10点</small>	
点	

7. 総合評価	
極めて良好 (110~101) ・ 良好 (100~91) ・ 適正 (90~70) ・ 改善指示 (69以下)	
良好 (100 / 110点)	【所見】 異世代交流活動や中高生をターゲットにした企画を実施することで、中学生世代の利用者を大幅に増やした。それ以外にも様々なイベントを実施し、楽しむ場であるとともに児童の心身の成長の場ともなり、施設として児童の健全な育成に大きく貢献した。
	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	[43] 東京都台東区立寿児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27.4.1	～ H32.3.31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区寿1-4-5 [規模] RC地上3階地下2階建 倉庫・機械室・遊戯室・図書室・事務室・図工室・集会室等 寿こどもクラブ・寿第2こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員2名、アルバイト等3名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	45,803,000	42,645,954	44,547,000	44,893,166
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	10,650	0	5,500
	計	45,803,000	42,656,604	44,547,000	44,898,666
支出	人件費	39,033,000	34,857,706	37,539,000	38,049,883
	光熱水費	2,309,000	1,368,258	2,320,000	1,340,858
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,872,000	1,270,070	2,016,000	1,813,951
	修繕費	550,000	1,681,498	500,000	1,214,137
	事業費	748,000	1,756,869	780,000	1,287,056
	その他支出	1,291,000	1,722,203	1,392,000	1,192,781
	計	45,803,000	42,656,604	44,547,000	44,898,666
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	334	331	332
事業実施回数	回	950	1,111	700	902

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	58,000	59,510	58,690	56,895
利用登録者数	人	880	364	796	868

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

こどもクラブの利用条件に満たない共働き家庭のニーズに応えたランドセル来館事業により小学1年生の利用が増えた。また、世代別の事業・活動を実施し、乳児から中高生、保護者まで幅広く利用できる環境づくりを目指した。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	常に利用者を加えた避難訓練を毎月実施するなど、緊急時への対策を実際的な水準で講じている。また、管理全般についても法令・規範を遵守して適切に実施している。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	地域との連携に加えて外部の団体と多くの協力イベントを実施している。その他についても適切な事業運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	老朽化している箇所などを普段から把握し、本部へ報告をすることなどによってリスク低下を図っている。また、積極的に修繕することで利用者の安全性に加えて快適性も考慮した維持管理体制を敷いている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	落語、演劇の公演や野外活動などの多様な催しを実施しており、アンケートの結果でも利用者の満足度が高いことが分かる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	ガスや水道の使用をできる限り控える、クーラーボックスの活用など、日常的に省エネの意識を高めることで経費の節減に努めている。また、予算についてはほぼ適切に執行した。
(6) 優れた取組み	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
<<加点項目>> ※点数上限：10点	
点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (100 / 110点)	【所見】 様々な年代の利用者が児童館を活用できるよう、多様な内容の事業を実施しており、利用者数は近隣の小学校仮移転の影響があったため前年度より多少減少したものの、当初の目標を達成した。全般的に児童福祉施設として良好な運営が行われている。 【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	[44] 東京都台東区立谷中児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区谷中5-6-5 [規模] RC3階建 事務室・更衣室・遊戯室・図工室・談話室・集会室 谷中こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員2名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	35,844,000	33,924,771	34,219,000	32,236,673
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	13,050	0	23,900
	計	35,844,000	33,937,821	34,219,000	32,260,573
支出	人件費	32,268,000	29,217,739	31,905,000	30,104,775
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費（委託料・賃借料）	508,000	267,984	508,000	270,120
	修繕費	705,000	611,992	150,000	63,782
	事業費	1,743,000	2,650,088	748,000	1,175,435
	その他支出	1,075,000	1,190,018	908,000	646,461
	計	36,299,000	33,937,821	34,219,000	32,260,573
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	—	331	332
事業実施回数	回	700	—	574	677

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	53,000	—	52,518	52,552
利用登録者数	人	1,400	—	1,532	1,348

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
小学生時代から引き続き利用している中学生の学習支援として試験前勉強会を開催し、結果として中学生世代の利用者数の急増につながった。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	谷中防災コミュニティセンターや谷中区民事務所と合同の避難訓練又は防犯訓練を実施し、緊急時の複合施設内の連携を確認した。それ以外に関しても法令・規範に基づいた管理を行っている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	地域との交流事業を積極的に実施しており、前年度をわずかながらも上回る利用人数を達成した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	新しい施設であるが、利用者が快適に使用できるよう遊具や工具、図書の整理整頓を積極的に行うとともに、維持管理への意識は高い。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	入口が2つあるため、利用しやすい来館表の工夫や情報案内を行った。また、利用者からの苦情・意見・相談には、ときに学校などと連携しながらも、周囲に配慮した上で対応し、児童や保護者と信頼関係を築いた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	排気口の開閉を調節し空気の流れをつくることで空調の利用を控える、普段は使用しないテレビのコンセントを抜いておく、用紙の再利用を心がける、などの省エネ対策で経費節減に努めている。また、予算については範囲内で適切に執行した。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (100 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>幅広い層のニーズに応じた事業を実施し、複合施設にある利点も生かし、利用者数を増やすことに成功した。利用者のみでなく、地域団体や関連施設とも良好な関係や連携体制を築いており、児童館として良好な運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p>